



## Minami-hatoba\_1(Shirouyasu\_Suzuki)

2006-08-31

久しぶりにamazonで洋書を注文する。

30日の朝、五つ咲いた朝顔の花の高いところに咲いた青い花を撮る。朝食、朝刊。そして、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、ダンスには現象学と比較行動学の二つの立場からアプローチすると書いてあった。その現象学というところでMaxine Sheetsの「The Phenomenology of Dance」からの引用があった。ストレッチ体操、シャワー。仕事場に行って、多摩美の卒業生の新島(旧姓室伏)敦子さんから残暑見舞いが来たので、返事を書く。そのはがきを持って、降り出した雨の中、自転車でパルケに行く。途中はがきを投函。井の頭通りを横切ろうとするとき、さしていたビニール傘が裏返る。パルケでは、イチジク、林檎、トマト、カボチャ、トウモロコシ、枝豆などいろいろと買って帰る。自宅近くの坂を下るときも、また傘が裏返る。帰って、イチジクを食べると甘くて美味しかった。林檎などを冷蔵庫に入れて、仕事場に下りて、Maxine SheetsをWebで調べて、その「The Phenomenology of Dance」をamazonで注文した。新刊はなくて古本と言うことになった。麻理が素麺を茹でて昼食。眠くなってベッドで仮眠。その後、買ってきたカボチャを煮て、トウモロコシを茹でる。コーヒーを飲んで夕刊を見る。稚内で高校生が友人と組んで母親を殺している。また、山口では専門学校の女子学生が学校の研究室で殺されている。仕事場に行って、志賀氏の指摘で、「ダンスがみたい8・志郎康見聞記」の名前の間違いを訂正する。[朝背伸びして撮った朝顔の花](#)をBlosxomblogに入れる。それから、Maxine SheetsをWebで検索して、「Man Has Always Danced: Forays into the Origins of an Art Largely Forgotten by Philosophers by Maxine Sheets-Johnstone」という論文を見つけて、Exciteの翻訳サイトで翻訳してみたが、全然意味が通じなかった。7時過ぎ、焼き魚を温めて、カボチャの煮付けとで一人で夕食。ベッドで仮眠。「ためして合点」500回記念番組を見る。仕事場に行って、『機——ともに震える言葉』を読む。関口涼子さんが吉増剛造の詩の翻訳者として、彼が頻繁に使う固有名詞や擬音を捉える道筋が語られている。11時頃、居間に行って林檎、薩摩芋、トウモロコシ、煎餅、牛乳。また、仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:38:43 - shirouyasu - No comments

2006-08-30

庭の夕暮れの空を撮る。

29日の朝、朝顔の花は一つも咲かなかった。昨日咲いて萎んだ花を撮って、咲いている姿と並べることにした。トイレで読んだ『美を脳から考える』は、「第4章 ダンス、うつろいゆく芸術形式——行動としての美」という章に入った。「うつろいゆく芸術形式は、繰り返し・規則性・不変性などの諸性質によって外面化への方向性を示している」と書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。仕事場に行って、日録を書き、Blosxomblogに[咲いた朝顔と萎んだ朝顔を上下に並べた画像](#)を作って入れる。mixiを見る。長尾高広さんのWeb詩集『右向け右』をダウンロードして読む。現実と距離を取った中年男性の意識の姿と読む。みそ汁を作り、冷や奴で昼食。ベッドで仮眠。刑事物をうとうとしながら見てしまう。トウモロコシを茹で、枝豆を茹で、その間居間のテーブルでコーヒーを飲む。夕刊が来て、トウモロコシを食べながら見る。庭が暗くなって、空がまだ明るい情景をminiDVで撮影する。それから仕事場に行って『機——ともに震える言葉』を読む。7時過ぎて、ご飯が炊いてなかったのに気がつき、急いで炊く。麻理から今東中野いてこれから帰るという電話。テレビを見ているうちに麻理が帰ってきて、ご飯も炊けて、スパイスを入れて煮直したカレーとサラダで夕食。仕事場に行って、『機——ともに震える言

### Navigation

[Previous 月](#)  
[Next 月](#)  
[Today](#)  
[Archives](#)  
[Admin Area](#)

### Categories

[All](#)  
[General](#)

灰皿町の本

●[幻想小説『なめくじキーホルダー』 清水鱗造](#)

●[「週刊読書人」詩時評一九九二-一九九三年 清水鱗造批評集 第二分冊](#)

### Search



旅で日本を  
元気にしよう。

事業者向け  
申請サイト

地域共通クーポン

Go To  
申

## Login

ログインID:

パスワード:

 このPCを他の人と共用する

Powered by



葉』を読み継ぐ。関口涼子さんと吉増剛造さんの言葉についての意識と言葉との交錯が、言葉そのもので記述されている。活字のポイントがいろいろ変わって読み辛いけど面白い。読み疲れて、「ダンスがみたい!8」で見たダンスのことを書いたblogの部分をエクセルで表にしたのをWebで保存して、「[ダンスがみたい8・鈴木志郎康見聞記](#)」としてhaizara.netにアップして、そのことを志賀信夫さんにメールする。居間に行って、林檎、トウモロコシ、薩摩芋、煎餅、牛乳。また、仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

01:29:10 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-29

関口涼子・吉増剛造著『機——ともに震える言葉』を読む。

28日の朝、朝顔の花を撮ろうとして外に出たら、小さい蛾がムクゲの葉にとまっていたので撮った。朝食、朝刊。トイレで読んだ『美を脳から考える』には、テンポ比についての結論が書いてあった。テンポの変化の比はどの民族の音楽でも低次整数比であること、従って人間の生物学的根拠に基づいている考えられること、また律動は人間のコミュニケーションの要素の一つと考えられるということなど書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。[ムクゲの葉にとまっていた小さな蛾](#)をBlosxomblogに入れる。素麺を茹でて昼食。ベッドでうとうとしながら「相棒」を見る。前に見たものだった。居間に行って珈琲を飲む。その自分の姿をシルエットにして庭の草が揺れるのをminiDVで撮る。仕事場を下りて、関口涼子・吉増剛造著『機——ともに震える言葉』を読む。「詩の現前性」について語っている本だと分かって来る。7時過ぎに麻理が帰ってきて、レタスやトウモロコシ、トマト、枝豆などを買いに行ってくる。それから、昨日作ったカレーで夕食。寝室のベッドに横になって「水戸黄門」を久しぶりを見る。役者が全部変わっていた。仕事場を下りて、メールを見ると、舞踏批評家の志賀信夫氏からメールが来て、「灰皿町blog日記」の21日の項目に書いた「シンポジウム」に出ていた女性批評家の名前が違っていると指摘してくれたので、早速訂正した。チラシによって「原田広美」と書いたのだったが、わたしの勘違いで当日来たのは西田留美可さんだった。西田留美可さん、申し訳ありませんでした。訂正を志賀さんに知らせると、もう一度メールが来て、「ダンスがみたい!8」のすべてのプログラムについて書いてるこの「灰皿町blog日記」を、志賀さんがやっているメールマガジンにリンクしたいとというので、わたしのダンスの記述が適切かどうか不安だが、承諾した。それから、このeMacが急に不安になって、ユーザーフォルダーのバックアップを仕掛けて、居間に行って林檎、薩摩芋、トウモロコシ、煎餅、牛乳。また仕事場に戻って「灰皿町blog日記」を書く。

00:35:22 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-28

「ダンストリエンナーレ」のチケットを「**FamilyMart**」で買う。

27日の朝、今朝は朝顔の花は二つしか咲かなかった、その蔓の先端に近いところで咲いている花を撮ってから朝食。朝刊を見る。トイレで読んだ『美を脳から考える』には、テープで調べたところ、ニューギニアの二つの種族の儀式と祭りに使われた音楽のテンポが、いずれも正確に進み、早い遅いの比が1対1、または2対1で変化してると書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。その間に洗濯して、干すのは麻理に頼む。仕事場に行って、日録ノート。[蔓の先の方に咲いた朝顔の花](#)をBlosxomblogに入れ、メールの返事。素麺で麻理と昼食。11月に開催される「ダンストリエンナーレTOKYO2006」のチケットを「電子チケットぴあ」で、電話のプッシュホンのボタン操作によって予約して、代々木上原駅の下「FamilyMart」に買いに行く。「FamilyMart」に置いてある端末器の画像で指示に従って電話番号と指定の数字を指で押して、出てきた請求書をカウンターに持って行き、チケット



旅で日本を  
元気にしよう。

**GOTO**  
トラベル  
GOTO TRAVEL

事業者向け  
申請サイト

地域共通クーポン

Go To  
申

代を払うと、そこに印刷されていたバーコードを読み込んだプリンターからチケットが印刷されて出てきたのを手渡された。この自動的にチケットを買う一連の操作を初めてやったので、わたしはいささか興奮してしまった。それから、スーパーの「丸正」に行き、茄子、ゴボウ、蓮、にんじん、肉などカレーの食材を買い、その他にトマト、枝豆、トウモロコシを買って帰った。帰って、買った食材にタマネギとジャガイモとピーマンを加えてカレーを作った。トウモロコシと枝豆を茹でる。米をといでご飯も炊く。テレビを見ながらトウモロコシを食べる。チケットの日時をチェックする。しばらくして、麻理がサラダを作って、カレーで夕食。食後、NHK番組「トップランナー」でダンサーの森山開次を見て、寝室のベッドに横になって「功名が辻」を見て、続けてNスペ「コウノトリがよみがえる里」を見る。人工飼育したコウノトリを野生に放った後の1年間を追ったドキュメンタリー。仕事場に行き、森山開次と室伏鴻のHPを見る。室伏鴻のHPには国吉和子さんの批評が載っていたので読む。居間に行き、林檎、トウモロコシ、薩摩芋、煎餅、牛乳。仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:35:54 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-27

「映像アートサロン・煌翔#3」にトークゲストで行く。

26日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、ブッシュマンの指ピアノの一種のドンゴの演奏者の演奏にテンポの狂いがないことが書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。[また咲き始めたサフィニア](#)を撮って、Blosxomblogに入れる。niftyのメールアドレスをeMacのmailに入れようとしたがどうもうまく行かない。麻理とざる蕎麦で昼食。ちょっと仮眠。仕事場に戻って、関口涼子・吉増剛造著『機——ともに震える言葉』を読む。5時半近く、野菜炒めの残りですぐ夕食を食べて、出かける。新宿でJR中央線に乗り換えて、阿佐ヶ谷の画廊「煌翔」に行く積もりが、思い違いで高円寺で降りてしまう。高円寺阿波踊りの日だったので、駅が混み合っていて、切符買って乗るだけで10分余り時間を取られた。画廊「煌翔」に着いたの7時ぎりぎりだった。7時から、かわなかのぶひろ+萩原朔美作品『映像書簡3』（1981）の上映。カラーの退色が著しかった。それから星野出穂作品『のんのの庭』と鈴木野々歩作品『風をとって』が上映され、二人の父親であるほしのあきらさんとわたしがトークゲストとして、その作品について短い話をした。小沢和史君が来ていて挨拶。その後休憩があって、かわなかさんの「酒場シリーズ」の3作目『まこ』が上映された。終わって、わたしは萩原さんのシルクスクリーンの作品を買って、タクシーで持って帰った。トウモロコシと枝豆を食べながら夕刊を見る。その後、林檎、角きんつば半分、煎餅、牛乳。仕事場に行き、今夜会場で会い、以前メールをくれたということだが、すっかり忘れていた中野圭さんのメールを探してメールした。そして「灰皿町blog日記」を書く。

01:12:18 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-26

詩の原稿を書肆山田の一民さんに渡す。

25日の朝、朝食前に雨に濡れた朝顔の花を撮る。朝刊を読みながら朝食。その後、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、ベネズエラのオリノコ川流域のヤノマミ・インディアンの「交渉歌」のテンポの変化が2対1であることが書いてあった。このインディアンは、売り買いするとき、売り手の歌に買い手が応じて歌い、その歌が1時間も続くということだ。仕事場に行き、相沢けいこさんに暑中見舞いの返事を書く。[朝顔の花](#)をBlosxomblogに入れる。麻理とざる蕎麦の昼食。食後ちょっと仮眠。仕事場に戻り、昨夜改稿した詩をプリントしてまた手を入れる。最終稿をプリントして、4時過ぎに家を出て、小田急で新宿に出て、JR山手線の池袋で下車。「珈琲茶房」に行き、書肆山田の鈴木一民さんと待ち合わせて詩の原稿

を渡す。ちょっと話しをしてから、うどんの店の「硯家」へ行って、生ビールとお酒を飲み、秋刀魚の一本焼きなどを食べ、いろいろな話をする。関口涼子・吉増剛造著『機——ともに震える言葉』が主な話題になる。後で、大泉さんも来る。大泉さんが先に帰った後、しばらくして、店を出て、ジュンク堂の前で別れて、わたしはタクシーで帰宅。帰宅して、ベッドに横になって甲子園決勝戦を扱ったNHKスペシャルを見る。居間に行って林檎、麻理が買ってきた酒まんじゅう、スイカ二切れ、煎餅、牛乳。それから仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

00:30:31 - shirouyasu - 2 comments

## 2006-08-25

散歩して、詩に手を入れて完成に近づく。

24日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、チベットとネパールの音楽のテンポを調べて、テンポ比が2対1、あるいは4対3であることが書いてあった。足腰が痛いのでストレッチ体操はお休み。[チェリーセージの花](#)を撮って、Blosxomblogに入れる。7月24日から書き始めて、その後、手を入れてきた詩を、明日書肆山田の一民さんに渡すために仕上げに掛かる。プリントして読み直し、大幅に構成を変えて、もう一度プリントして読む。麻理と素麺の昼食。ベッドで仮眠。詩のプリントに手を入れる。4時頃、麻理が出かけた後、散歩に出る。河合塾の横から東北沢と下北沢の間にある小田急の踏切を渡って、北沢小学校の脇を抜けて大山に出て家に戻った。2キロ足らずの距離を歩くのに40分ぐらい掛かった。汗びっしょりになってシャワー、頭も洗う。ご飯が炊けるまで夕刊を見て、麻理が作った肉野菜炒めとみそ汁で夕食。食後また仮眠。脚に灸を据える。仕事場に行って、詩を更に大幅に改稿する。11時廻って、居間に行って林檎、トウモロコシ、クリームパン小、煎餅、牛乳。仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:14:35 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-24

水嶋きょうこさんと会って詩集『twins』について話し合う。

23日の朝、朝食前にバラの花の最後の姿を撮って、次の花芽を期待して切り落とす。トイレで読んだ『美を脳から考える』には、カラハリ砂漠のブッシュマンの「ミツアナグマ・ダンス」のテンポを、フィルムで測定して、休みを置いて続けられた二つのダンスのテンポの変化は1対1だったと書かれていた。[バラの花の最後の姿](#)をBlosxomblogに入れる。11時半過ぎに家を出て、小田急で新宿に行って、京王線の特急で八王子へ。1時前に着いて改札で水嶋さんと落ち合い、そのビルの11階の食堂街のそば屋と一緒に食事する。天ぷら蕎麦をご馳走になる。わたしとしては水嶋さんのことを知らないの、いろいろと質問する。関西生まれで、大学は東京。学生時代演劇をやっていて、赤テントや寺山修司の演劇をよく見に行ったということだった。食べ終わって、隣のビルの一階のケーキ屋のカフェコーナーでコーヒーを飲みながら詩集『twins』について話す。わたしは、詩の場合、紙面が舞台で、そこで言葉を演出するということになる、というようなことを話した。4時前に京王線のホームで別れて、わたしは特急で新宿へ。新宿に着いてヨドバシに行くと、Mac売り場で売り出されたIntelプロセッサのMac Proについて店員に聞く。Photoshop 7.0やIllustrator10.0はインストールできない。CS2ならOK。Final cut Pro 5.0は、5.1にアップグレードしないと使えない。ということは、今わたしが持っているアプリケーションは使えないということだ。買いたい気がするが、考えてしまう。小田急地下に行って、豚の角煮など惣菜を買って、タクシーで帰宅。トウモロコシと枝豆を茹でた後、みそ汁を作って、買ってきた惣菜で夕食。寝室のベッドで仮眠。9時過ぎに居間に降りて夕刊を見る。仕事場に行って、関口涼子・吉増剛造著『機——ともに震える言葉』を読み始める。12時廻って、居間に行って、林檎、枝豆、トウモロコシ、煎餅、牛乳。また仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書

く。

01:30:15 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-23

シアターXの「ルティ・カルネと行うワークショップ」を見に行く。

22日の朝、朝食前に朝顔の花を撮る。朝刊を見ながら朝食。優勝した早実の記事。トイレで読んだ『美を脳から考える』には、知覚の閾値を研究したウェーバーの名を取った「ウェーバー値」のことと、テンポ比の研究にアジア、太平洋、アフリカ、南米の民族を選んだことが書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。薩摩芋とトウモロコシを茹でる。郵便局に行って、WEB週刊誌『Zouhai10000Pages』の維持年会費を振り込む。文教堂に行って、コンピュータ雑誌や本を見る。パルケでパプリカを買い、薬局で「千年灸」を買って帰る。素面のお湯が沸く間に脚に灸を据える。茹でた素麺とトウモロコシで昼食。食後、ちょっと仮眠。Blosxomblogに朝顔の花を入れる。先日書いた詩をプリントして手を入れる。それから、小嶋きょうこさんの詩集『twins』を再読。4時過ぎに家を出て、小田急で新宿に出て、JR総武線で両国へ。「Denny's」で「黒カレーハンバーグ」というのとライスで夕食。ダンスについてちょっとメモを取る。シアターXへ。ロビーで1年数ヶ月ぶりに会ったルティ・カルネさんと握手して、再会を喜ぶ。6時から今日だけ公開された「ルティ・カルネと行うパフォーマンスアーティストのためのワークショップ」を見る。今日のテーマは「変形(トランスフォーメーション)」と、「男—女 葛藤(コンフリクト)」だった。ルティさんの説明の後、吉田日出子さんなど20人余りのベテラン俳優達が、静かに歩くところから始まって、自分をコントロールして動けなくなって、わずかに残った動けるところを広げていって、それを全身に取り込んで、自分ではない自分になってセリフを言う、というもの。男と女が一組になって、電話番号や生年月日など数字だけでやりとりするというもの。フロアーに縦横にゴムを張って、触らないで動く。そこで異空間への出入り口を想定して動く。その想定に基づいて語られた話を演じる。ゴムを取り去って、次に、アイコンタクトで相手を苦しめる。それにギリシャ悲劇の台詞をいう。一人の俳優に、その見えない糸を他の全員が結んで、一人の俳優の動きに全員が従う。それにギリシャ悲劇の台詞をいう、というものなどを1時間ほどやって、終わった。俳優の長畑さんに会った。シアターXの上田さんに挨拶して退散。JR総武線と小田急で帰宅。汗をかいたのでシャワーを浴びて、夕刊を見ながら、林檎、薩摩芋、トウモロコシ、煎餅、牛乳。早実の凱旋のテレビニュース。仕事場に行って、また小嶋きょうこさんの詩集『twins』を再読してメモしてから、「灰皿町blog日記」を書く。

00:32:42 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-22

「ダンスがみたい! 8」の「KeM-kemunimaku-project」を見る。

21日の朝、朝食前に、盛んに咲いている朝顔の花と最後に近いハイビスカスの花を撮る。朝食を食べながら朝刊を見る。トイレで読んだ『美を脳から考える』には、著者が決めた優位的なすれの秒数のことが書いてあった。ハイビスカスの花をBlosxomblogに入れる。自転車で行って軟骨増強と視力増強のサプリメントを買い、パルケに行って、牛乳、レタス、トウモロコシなどいろいろと買って帰る。素麺を茹でて昼食。寝室のベッドに横になって、甲子園決勝戦の再試合を見る。駒大苫小牧が9回にホームランでその差一点に迫るが、その後早実のピッチャーの斉藤が3者凡退にするなど劇的で面白かった。その後、水嶋きょうこさんの詩集『twins』を読み終える。そして納豆で早い夕食を一人で食べて、6時過ぎに出かける。地下鉄で神楽坂へ。赤城神社の前から裏の方に行き、相生坂を下ったところにある「神楽坂die pratz」へ行く。「ダンスがみたい! 8」の最後のプログラムKeM-kemunimaku-projectの三人アダチミサト、アベミナコ、酒井幸菜の「あ、

ぶれた」を見る。10分前に着いたが、既に10人余り来ていた。7時開場で、前列に席を取った。客は若い女性が多かった。7時40分開演。真っ暗の踊り場の中央がだんだん明るくなると、三人が袋を被るようにねずみ色のワンピースを着る。左側に縦に並んで、掌で何かを受け取っている。アフタートークで言っていたのでは、それは水を手の平で受け取っていたのだという。それから三人はフロアの踊り場を横に左から右へ自分のコースを歩き始める。11、2歩の空間を行きつ戻りつ歩くが、その間にテンポが違って差が付いたり、だんだんと速くなって、走り出したりする。その間にコースが入れ替わったりもする。30分ぐらい歩いてから、寝転がって両手両足をばたつかせたり、廻ったり、跪いたり、三人三様のパフォーマンスをしながら移動する。最後にまた歩きになり、そこから一転して三人そろって、ワンピースを脱ぎ捨て、パンツとブラジャーでロックを踊る。更に、ストロボフラッシュの中を暴れ回り、そこで終わる。60分のパフォーマンス。アフタートークでは「KeM-kemunimaku-project」の成立の話、稽古のことなど、客席からの質問に答えたりしていた。9時過ぎに終わり、地下鉄で帰宅。シャワーを浴びる。林檎、薩摩芋、枝豆、麩まんじゅう半分、牛乳。テレビで早実優勝のニュースを見る。仕事場に下りて、今日で見終わった「ダンスがみたい!8」のプログラムを数えてみたら、「インターナショナルシリーズ」が五つのプログラム「批評家推薦シリーズ」が十二のプログラムで、「シンポジウム」が一つあったから、全部で十八のプログラムを見たことになる。「神楽坂die pratze」に9回、「麻布die pratze」にも9回通った。コンテンポラリーダンスの入り口に立ったかなという感じだ。というわけで、「ダンスがみたい!8」をちょっと振り返ってから、「灰皿町blog日記」を書く。

00:38:24 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-21

「ダンスがみたい!8」の「シンポジウム」を聞きに行く。

20日の朝、朝食前に朝顔の花を撮る。朝食、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、テンポのずれを知覚するわずかな幅の有意性のことが書かれていた。ストレッチ体操、シャワー。仕事場に行って、清水哲男責任編集WEB週刊誌『Zouhai10000Pages』の会員登録をして、[朝顔の花](#)をBlosxomblogに入れる。それから1時頃麻理と素麺で昼食。甲子園の決勝戦早実対駒大苫小牧を3回ぐらいまで見て、出かける。地下鉄で昨日行った「麻布die pratze」へ行く。3時から「ダンスがみたい!8」の「シンポジウム」。志賀信夫の司会で、貴成人、木村覚、遅れて西田留美可たち批評家によって、「コンテンポラリーダンスの現在と、これから」というテーマで語られるのを聞く。昨日と同じ席に座った。観客は25、6人くらいか。志賀氏が出席者を紹介して、それぞれコンテンポラリーダンスとの接点を語り、「舞踏とコンテンポラリーダンスとの関係」「観客との共鳴」「批評家の役割」などについて、客席からの発言を交えて語られた。哲学者の貴成人氏が「ダンスには枠がなくなった」というピナ・バウシュの言葉を紹介したり、土方巽を研究している木村覚氏が「室伏鴻のダンスははくれていく身体の実現だとか、ダンスを文脈化する」ということを言ったり、西田留美可氏が「同時代を見る歴史家の目で見ている」と言ったりした言葉が印象に残った。話題に出たダンサーやダンス公演は知らないものばかりだったので、新鮮な印象だった。5時に終わって、映像演劇学科の非常勤講師の國吉和子さんに話しかけられて、全部見ていると言ったら、彼女が見てない分のことを教えて欲しいと言われたので、近くに喫茶店がないので、旧面接所跡の公園に行ってそのベンチで、彼女に買って貰ったボトルのミルクコーヒーを飲みながら話した。話しているうちに蚊が寄ってきたので切り上げて、この後の公演を見る国吉さんと「麻布die pratze」の前で別れた。地下鉄の大江戸線、半蔵門線で渋谷に出て、Book1stで木村覚が企画したというダンス特集の「美術手帖」2005年12月号と「舞踏学講義」という本を買った。それから東急本店地下で、麩まんじゅう、煎餅、鰻重、ハム、葡萄を買い、タクシーで帰宅。テレビを点けたら早実対駒大苫小牧は15回1対1で引き分け、明日再試合なったというので驚い

た。麻理と鰻重の夕食を食べた後、ベッドに横になってNHK大河ドラマ「功名が辻」を見て、その後ちょっと眠ってしまった。11時過ぎに仕事場に行って、メモを見て「シンポジウム」を反芻する。居間に行って林檎、麩まんじゅう、薩摩芋、煎餅、牛乳。仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

01:20:42 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-20

「ダンスがみたい! 8」の遠藤寿彦とジャッキー・ジョブを見る。

19日の朝、朝食前に朝顔の花を撮る。トイレで読んだ『美を脳から考える』には、非西欧の民族の音楽のテンポの時間の測定の仕方が書いてあって、録音したテープを物差しで測るという方法を使ったということだった。ストレッチ体操、シャワー。甲子園中継をちょっと見て、仕事場に行き、[一つの蔓に沢山咲いた朝顔の花](#)をBlosxomblogに入れる。素麺の昼食。その後、ベッドに横になって高校野球の中継で準決勝早実対鹿児島工戦を見る。メールに返事。5時過ぎに、麻理と餃子とみそ汁で早めの夕食。6時過ぎに家を出て「麻布die pratz」へ行く。表参道と青山一丁目で乗り換えて大江戸線赤羽橋下車。着くのが早すぎて、江戸時代の「面接所跡」の公園のベンチでちょっと過ごして、「麻布die pratz」へ。開場が20分遅れるというので、番号券を貰って東京タワー方面に散歩する。喫茶店を探したがない。また「面接所跡」のベンチに座る。7時20分廻って開場。前列に席を取る。先ず、遠藤寿彦の『エクリチュールの長い廊下ノ和声の構造』を見る。踊り場に3センチ角で長さ2メートルの白く塗ったポールが4本吊してあり、奥の高いところにスクリーンがあり、パソコンとプロジェクターが置かれた机がある。始まると、まだ客電が消えないうちに遠藤寿彦が出てきて、身体をねじったりひねったり強く踏んだりする舞踏を始める。それから、ポールを紐を身体に付けてつり上げたり、スケボーみたいな車に仰向けに乗って出てきたりもする。それから、パソコンと接続したプロジェクターでスクリーンに、床の映像と大きな文字を映写したり、と展開する。足でスイッチを踏むと和音の一部が演奏され、それに合わせて踊ったりする。アフタートークで言っていたことでは、文字を手で書くように、ダンスでの身体の動きを意識的に辿るダンスということらしい。参考テキストとして、フロイトの『症例の研究』の「狼男の夢」のところがプリントして配られた。10分の休憩の間に、踊り場をきれいにして、次にケープタウン出身で、大野一雄のところで学んでいるジャッキー・ジョブのダンス『HECTISM』。細かくて速い全身の動きから始まり、踊り場全体で大きく踊り、壁に張り付いて踊り、最後は声を出しての悲しみと慟哭の踊りをもって50分を踊り終えた。身体を感情の動きに乗せて流れるように展開する力強い踊りだった。アフタートークで彼女は忙しい現代社会の動きの自覚を表現したと言っていた。大江戸線、半蔵門線、千代田線で帰宅。子供連れが目立つ。帰宅してシャワー。それから、林檎、薩摩芋、団子一串、せんべい、牛乳。夕刊を見る。仕事場を下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

01:32:39 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-19

「ダンスがみたい! 8」の「ピンク」を見る。

18日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、テンポを変える他の方法というのが書いてあった。(1)ルバート、(2)ルバートに類似しているが、それほど定式化してない「演奏」、(3)一つのテンポから他のテンポへ移る際に加速したり減速したりすること、というのだ。音楽のことに疎いわたしにはよく分からない。ストレッチ体操、シャワー。散りかけたバラの花を撮る。多摩美の庄山さんから父上の「回顧録」「自選短歌百一首」「手作り絵本」が収められた著書『残照』が送られてきたので、その「自選短歌百一首」を読んで礼状を書く。麻理が素麺を茹でて昼食。食後、[散りかけたバラの花](#)をBlosxomblogに入れてから仮眠。水嶋きょうこさ

んの詩集『twins』を読み始める。途中まで読んで、わたしだけ納豆で早い夕食。6時過ぎに家を出て、地下鉄の表参道、九段下で乗り換えて神楽坂下車。東西線は背広の男性が多かった。「神楽坂die prätze」へ行く。7時5分前に着いて、行列の7番目だった。開場して、まあ最前列の席に座れた。満席の客筋は若い男が多いように感じた。「ピンク」は日本女子体育大出身の磯島未来、加藤若菜、須加めぐみの3人が黒沢美香&ダンサーズにいるときに形成された踊りのグループということだ。今日の公演「We Love Pink ~夏休み~」は、まず3人が奥の壁の後ろの通路から舞台に、10回ぐらいぐるぐる走り回る。壁の3つの隙間でポーズする。疲れて床に減りこむ。暗転して、ワンピース姿になって、隙間から一人ずつ現れて、ポピュラーソングに合わせて踊る。そして群舞になる。群舞の後、一人の踊りがあって、静かに床に座って暗転して挨拶、その後、3人に最初の体育着が投げられて、「ピンク」のテーマソングの中で着替えて揃いのダンスをして終わった。松澤慶信の司会でアフタートークがあった。印象として、ダンスやパフォーマンス以前の若い女性の身体そのものが売り物という感じだった。磯島未来、加藤若菜、須加めぐみの3人は「舞踊コンクール等で受賞歴を持つ」ということだから、ダンスなのだが、そのダンスということが身体を前面に出して見せるところまで許容しているのが分かった。東西線、半蔵門線、千代田線で帰宅。シャワー。林檎、トウモロコシ、薩摩芋、煎餅、牛乳。夕刊。仕事場に行って、mixiを見てから「灰皿町blog日記」を書く。

00:26:36 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-18

「DVD Studio Pro 3」の「詳細」プロジェクトに挑戦。

17日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、ビートが安定して続くとテンポになる。また、テンポの変化は単純な整数比である。これは生理学的基礎に基づいている。というテンポ比率の理論が纏めて書いてあった。まず、銀行に行って火災保険の保険料を払い込んだ。キャッシュカードの振り込みは大抵一度は失敗する。今日はパスワードの打ち込みと支店検索で2度失敗した。その足でパルクに行って、麻理に頼まれた野菜炒めの食材とトウモロコシと枝豆を買った。枝豆は100円違いの2種類を買った。帰って、ストレッチ体操、シャワー。バラの花を撮る。多摩美の清水千明さんから残暑見舞いが来たので返事を書く。麻理が素麺を茹でて昼食。仮眠。Blosxomblogに[萌れてきたバラの花](#)を入れる。トウモロコシを茹でた後、100円違いの枝豆を二つの鍋で同時に茹でる。食べてみると、100円高い方は確かにしっかりとした実が入っているが、安い方が甘みがある。実の入り方が値段の違いのようだ。茹で上がったところで、甲子園のテレビ中継を見ると、帝京対智弁和歌山の最終回が逆転に次ぐ逆転で12対13とドラマチックだった。トウモロコシを食べて、仕事場に行って、昨日の続きの『自來也』のシーンをテープを見ながら書き抜く。7時半過ぎて麻理が肉野菜炒めとみそ汁を作って夕食。仮眠。仕事場に下りて、「DVD\_tamaou」を「DVD Studio Pro 3」のチャプター指定などが出来る「詳細」プロジェクトで作り始めて、メニューの背景を入れるところまでやる。居間に行って、林檎、角きんつば半分、トウモロコシ四分之一、枝豆、牛乳。また仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:49:39 - shirouyasu - 2 comments

## 2006-08-17

「ダンスがみたい! 8」の神村恵×種子田郷『うろ』を見る。

16日の朝は、いつもの通りNHKのテレビ小説『純情きらら』など見て9時頃起床、朝刊を見ながら朝食。高校野球の中継早実対今治の後半を見る。トイレで読んだ『美を脳から考える』には、西欧の音楽のテンポ比が普遍的かどうか、西欧以外の民族の音楽について調べてみたらどうかと、比較行動学者から言われて、考えも



見なかったことなのでショックを受けたと書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。[庭のバラの咲いて二日目の花](#)を撮って、Blosxomblogに入れる。『自來也』のゲネのテープを見て、各シーンの展開をExcelの表に書き出し始める。麻理と素麺で昼食。仮眠、寝過ぎる。Excelに書き出す作業。5時過ぎに、「ダンスがみたい! 8」を見に行くために納豆で早めの夕食。6時過ぎに出かけて、表参道で半蔵門線に乗り換えて青山一丁目で大江戸線に乗り換えて赤羽橋下車。「麻布die pratze」に行く。開場時間の10分前に着いたが、7番目だった。「麻布die pratze」はビルの3階にあり、入り口はビルの外側の木製の階段を上って行く。開場までその階段に列を作る。わたしは丁度踊り場で待つことになり、東京タワーを遠望して風の中に立って10分を過ごした。ちょっといい感じだった。席は最前に列取った。ここも満員だった。『うる』が始まると、暗闇に種子田郷(sound)の街の音が響いて、神村恵(dance)が黒い衣装で素足で空間を歩き回る。音響は単純な電子音に変わり、変化して展開する。重低音はお腹に響く程の大きな音になる。神村恵のダンスは、舞踏とかダンスというより、身振りの連続で、小さな動きから反復した大きな動きまでかなり変化する。床にへばりついて反転したり、片方の足を軸にして回転したり、奥の階段を利用してベランダのような中二階へ行き、そこから吊り下がって飛び降りたりした。スケールのあるほぼ40分のパフォーマンスだった。終わった後、推薦人の舞踏評論家の石井達朗が司会して神村恵、種子田郷、衣装の甲斐さやかか四人のトークがあった。導入の街の音は、この開場の外のライブ音で、会場内の音に切り替わり、電子音楽に変わったという説明があった。それらの音に乗らないようにして身体を動かしていたと、神村恵は言った。この二人の組み合わせを考えたのは石井達朗ということだった。終わって、大江戸線、半蔵門線、千代田線と乗り換えて帰宅。表参道は神宮の花火大会の帰りの浴衣の女性達で混雑していた。帰宅してシャワー、それから林檎、地酒ケーキ切れ、薩摩芋、枝豆、せんべい、牛乳。夕刊を見て、仕事場に行って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:37:52 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-16

「ダンスがみたい! 8」の「ささらほうさら」を見る。

15日の朝、7時過ぎにテレビを点けると小泉首相が靖国神社を参拝ところを中継していて、見てしまう。日本軍に侵略された人々がその司令官を祀る神社を首相が参拝すると、心が傷つけられるとっているのだから、遠慮した方がいいのではないかと思う。もっとも日本の政府は、東京大空襲を指揮して10万人の一般人の命を奪ったルメイというアメリカの軍人に、戦後航空自衛隊に貢献したという理由で勲章を贈っている。一般の人を優先的に考えないのが「この国」というものだ。靖国神社は国家と個人を融合させる象徴的な拠点のように思える。起床して、[庭のバラが花を開いた](#)ので撮る。新聞を読みながら朝食を食べていると、多摩美卒業生の上岡文枝さんから電話があって、母親の実家の新潟に行ったら、「地酒ケーキ」というのがあって、美味しいから送ったという。その電話の後に宅急便が来て届けてくれた。それから、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、テンポの遅い早いのは整数比になる。それは生物学的な基礎に基づいていると書いてあった。仕事場に行って、上岡さんに礼状を書いて、昨日作った「DVD\_tamaou」プロジェクトでDVDを焼いて、一緒に封筒に入れる。麻理と素麺で昼食。ちょっと仮眠。トウモロコシを茹でていて忘れてしまい、焦げ付いて焼きトウモロコシになってしまう。麻理が気づいて停めたけど、危ない。居間で麻理の仕事の手伝いちょっと。高校野球の帝京対城東戦の最後を見てしまう。5時過ぎ、バラの花をBlosxomblogに入れる。それから、6時前に納豆でわたしだけ早めの夕食を食べて、地下鉄で神楽坂で下車して、「神楽坂die pratze」へ行く。途中、わたしの足下をすり抜けた二匹の猫が激しい喧嘩。「神楽坂die pratze」には5分前に着いたが、わたしは7番目だった。開場の時には20人ぐらい列んでいたが、その15人目までが30歳過ぎと見える男性ばかりだった。安田理英中心の「ささらほうさら」は男性に人気があると見えた。会場は補助席が出る程に一杯になった。今日の舞踏公演「だいこんどの」が開演すると、

闇の中に3人の白塗りの女性が蹲って、速いビートに合わせて身体を震わせていてやがて立ち上がって踊るのだった。次に安田理英が、綱を腰に付けて喜び悩みの表情のある踊り、次に長い触覚を持った虫を思わせる姿の3人の踊りといったように、3人の次が1人と交互に続き、最後は旅立ちの姿で傘を持った4人の踊りで終わった。ビートのきいた音楽、合唱の声、蝉の声、雨の音など、音の中に身体を浮かせている感じもした。終わって外に出ると、二人の女性から「こんばんは」と挨拶されたが名前が思い出せなかった。足が痛くなって、地下鉄神楽坂駅まで歩くのがちょっときつかった。半蔵門線の表参道で乗り換えたが、ホームに降りた時、多摩美卒業生の熊谷潤さんにばったり会い、声をかけて、彼女はわたしが降りたドアに乗った。それから、千代田線のホームに行きベンチで今日見た踊りをメモして、電車が来たので立ち上がったら、若い男が近づいてきて「小杉国太郎ですよ」と名乗った。国太郎君は知ってますよ、去年の秋、写真展会場で会ったのに、その顔が一致しなかった。「やー、ごめん、こっち？あっち、じゃー今度またね」と言い残して電車に乗ってしまった。代々木上原で降りて、中学校の前まで来ると、時々、家に餌をねだりに来る気の強い野良猫とも出会った。今夜は出会いの重なる夜だった。家に帰ってシャワー。林檎、上岡さんが送ってくれたケーキ、焦がしトウモロコシ、せんべい、牛乳。夕刊。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

00:54:07 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-15

二年前の『自來也』公演のminiDVテープを見る。

14日の朝は8時前に、朝のテレビ小説を見ているとき、テレビがボツッと切れて停電になった。災害時用に買ってあった「手回し発電ライト&ラジオ」が役に立った。水道が出なくなるというので水を鍋などに汲んだが、それはマンションのことだった。いつもの通り、[庭の朝顔の花](#)を撮ってから、朝食。トイレで読んだ『美を脳から考える』には、ベートーベンのメトロノームが狂っていたので、楽譜に速いテンポの記号を書き込んでいて書いてあった。朝食中に昨日DVD制作で失敗した『多摩美上野毛キャンパス2003年秋』のカラーバーのないmovieファイルからmpeg2に書き出す。朝食後、ストレッチ体操をせずに仕事場に行って、日録を書いてから、「DVD Studio Pro 3」で「DVD\_tamaou」のプロジェクトを作り直す。ボタンにシェイプをつけたら、その枠の中でムービーが自動的に再生されるのが分かった。DVDディスクを作る。今度は成功。但し、eMacと仕事場のDVDデッキでは再生が出来るが、寝室のデッキではメニュー画面は表示されるが、ボタンを選んでも再生できない。自転車でパルケに行って、枝豆やトウモロコシや天ぷらなど買ってくる。積乱雲が綺麗なので、魚眼レンズで撮る。蕎麦を茹でて一人で昼食。仮眠。庭の猫じゃらしを三脚をつけて撮る。コーヒーを淹れて飲む。仕事場へ、「DVD Studio Pro 3」で次にチャプターなど細かく指定できる「詳細」でオーサリングをしようと思って、それなら、二年前に多摩美の共同研究公演でやった『自來也』を撮ったminiDVのテープを編集しようと思い立ち、テープを探して、整理する。麻理は「プレイバックシアター」へ行った。Blosxomblogに忘れていた朝顔の花を入れる。8時近く、みそ汁と天ぷらとカボチャの煮付けの残り一人で夕食。仮眠。仕事場に行って、『自來也』公演のテープを見る。天野君や中林さんが出ていて、懐かしい。居間に行って、林檎、角きんつば半分、菓子パン、せんべい、牛乳。仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。外を見たら雨になっている。

02:17:27 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-14

「ダンスがみたい! 8」の「Koga Dance」を見る。

13日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』は、「第3章 音楽におけるテンポ比率—普遍的なものだろうか?」に入った。同じ曲でも指揮者によってテンポ

が違うし、作曲家によってもテンポが違うというところから、テンポをどう考えるかということのようだ。ストレッチ体操、シャワー。庭の朝顔の蔓を魚眼レンズで撮影。[ピンクの朝顔の花](#)をBlosxomblogに入れる。「DVD Studio Pro 3」で「DVD\_tamaou」のプロジェクトにメニューとボタンを付ける。麻理と蕎麦を茹でて昼食。仮眠。「DVD\_tamaou」のボタンに『極私的な多摩王の感傷』と『多摩美上野毛キャンパス2003年秋』をリンクして、DVDディスクを作って見る。再生すれば両方で40分以上あるものが20分で出来る。早速再生して、メニューのボタンをクリックするとうまく再生できて成功かと思ったら、『多摩美上野毛キャンパス2003年秋』の方が音がずれていた。実は、元のムービーファイルをmpeg2に変換すると、映像と音声分離するのだが、その映像の方の頭に付いていたカラーバーを削除していた。それで、カラーバーの1000サイクルの音だけが残って、その後の音声を押せ押せでずれてしまったということ。カラーバーが付いてないムービーファイルでmpeg2の変換をもう一度やり直さなければならない。5時過ぎに、カボチャの煮付けで早い夕食を一人で食べて、5時半過ぎに家を出て地下鉄で「麻布die pratz」へ「Koga Dance」の『Romeo VS Juliet』と『「cuirasse」一鎧一』を見に行く。観客が多いだろうと予測して早めに行ったが、その通りで開場5分前でもう10人ぐらい並んでいて、開場の時には3、40人は並んだ。7時開演の少し前から会場を整理していた6人の男女が踊り始め、口々に「ロメオとジュリエット」の導入部のセリフを言い始めて、開演で9人の男性ダンサーによる群舞「JULIET 一閉ざされたROMEO達一」が踊られた。そしてまたセリフの部分があり、次に8人の女性ダンサーによる群舞「ROMEO 一光に沈むJuliet達一」が踊られた。それから、またセリフで曾根崎心中などの歴史的な心中した男女のことが語られて、今度は、男9人、女9人が二人で組んだり群舞になったりして「ROMEO VS JULIET 一愛は彼岸に一」が踊られた。最後は、7人の迷彩服を着た兵士の姿の男女によって、イラクで人質になったイギリス人の女性記者や高遠菜穂子さんのことが語られ、ジャンヌ・ダルクのことへ語り移って、衣装を変えた男女全員と女性ダンサーの内田香のジャンヌによつての群舞「cuirasse一鎧一」が踊られた。目の前で踊られる群舞は迫力があつたが、ついていけないところもあつた。終わった後のトークで、構成・演出・振付の古賀豊さんはイラクの人質事件が起こったとき、自分なりにダンスで応えたいと思ったということだった。9時過ぎに終わって、大江戸線、半蔵門線、千代田線で帰宅。大江戸線には浴衣の女性とカップルが多かつた。帰ったの9時55分で、急いでシャワーを浴びて、ベッドの横になってNHKドラマ「功名が辻」をBSで見た。それから、居間に行って、林檎、トウモロコシ、角きんつば半分、煎餅、牛乳。麻理は文章を書く仕事に励んでいた。仕事場に行って、「灰皿町blog日記」を書く。

01:27:32 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-13

以前買った「DVD Studio Pro 2 パーフェクトガイド」を読む。

12日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、韻律ということを見捨てる「自由詩」に対する批判が書いてあつた。まあ当然といえる。ストレッチ体操、シャワー。庭に出て朝顔の花を撮って、雑草の葉群を見ていたら、[カマキリがいるのに気が付いた](#)。昨日はトンボで、今日はカマキリと出会つた。雨が降らないうちにと思つて、自転車でパルクに行って、カボチャ、レンコン、トウモロコシ、枝豆、アスパラ、なす、大根、しらすぼし、林檎、トマトを買つてきて、レンコンとゴボウとカボチャとなすを煮て、トウモロコシと枝豆とアスパラを茹でる。仕事場に行って、「DVD Studio Pro 3」のおおよそのところが分かつたので、『極私的な多摩王の感傷』と、以前作つた『多摩美上野毛キャンパス2003年秋』を入れたDVDを作ってみようと思ひ、また以前買って始めのところを読んだだけだった。「DVD Studio Pro 2パーフェクトガイド」を引っ張り出して読み始めた。昼食は麻理と、冷や麦と茹でた枝豆。仕事場に戻つて「DVD Studio Pro 2パーフェクトガイド」を読み続ける。消防署から電話があつて、先日の出火の元になつたプラグを調

べたら、「1976」という刻印と、古くなるとぶつぶつと出る「電気痕」があったので、古くなって劣化したプラグ内でショートしたのが原因と思われる、ということだった。雷雨になる。雨に打たれる草たちをminiDVで撮る。夕方、居間に行ってトウモロコシを食べて、夕刊を見る。それから高校野球の早実対大阪桐蔭のテレビ中継を見る。11対2で早実が勝つというのは意外な結末だった。「DVD Studio Pro 2 パーフェクトガイド」をちょっと。カボチャの煮付けとみそ汁と焼き魚で夕食。下ろして冷蔵庫に入れておいた大根下ろしとしらす干しが冷たくて美味しかった。仕事場に下りて、Blosxomblogにカマキリを入れた後、また「DVD Studio Pro 2 パーフェクトガイド」を読む。ようやく「DVD\_tamaou」のプロジェクトを立ち上げた。11時過ぎて、居間に行って、林檎、トウモロコシ半かけ、一口羊羹、煎餅、牛乳。麻理と彼女が書いている文章の話。仕事場に下りて「灰皿町blog日記」を書く

00:12:43 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-12

「DVD Studio Pro 3」の「基本チュートリアル」をやってみる。

11日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、脳の働きからすると、モダニズムは人間性に反するという批判が書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。庭に出て朝顔の花を撮ってきたら、[2階から張った綱にトンボがとまっている](#)のを見つけた。仕事場に行って、「DVD Studio Pro 3」の「基本チュートリアル」を始める。トンボをBlosxomblogに入れる。1時半過ぎにそうめんを茹でて麻理と昼食。仮眠。その後も、「基本チュートリアル」を続ける。6時前に、なすとゴボウを水煮して、残っていたカレーの具を増やして、麻理とカレーの夕食。食後、仕事場に戻り、「DVD Studio Pro 3」でDVDを作るには先ず素材を作る必要があるというわけで、『極私的な多摩王の感傷』を「Final Cut Pro」のプロジェクトからmpeg2に書き出す。待つ間に、最近ダンスを見に行ったりして貰ってきた公演のチラシを整理する。居間に行って、スイカ、林檎、羊羹、カステラ、煎餅、牛乳。仕事場に戻って、mixiを見て、初めてメッセージを送ってきた多摩美97年度生の宮本さんの写真を探してから、「灰皿町blog日記」を書く。

01:13:30 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-11

「ダンスがみたい！8」の大岩淑子を見る。

10日の朝は快晴。起床して直ぐに、ぱっちり咲いた朝顔の花を撮った。トイレで読んだ『美を脳から考える』には、左右の脳にステレオ効果をもたらす韻律詩には、予言者が持っているような力があると書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。代々木上原駅下の銀行に行って現金をディスペンサーから引き出してくる。仕事場に下りて、eMacに「DVD Studio Pro 3」をインストールしようと、インストールディスクを探すがなかなか見つからない。麻理とカレー蕎麦で昼食。仮眠。ようやく見つけてインストールする。Blosxomblogに[朝ぱっちり咲いているところ撮った朝顔の花](#)を入れる。5時半過ぎにわたしだけカレーで早めの夕食。6時過ぎに家を出て、地下鉄で「麻布die Pratz」に向かう。車中、早すぎると思って、表参道から渋谷に行き、東横デパートの地下の高野で紅茶「ニルギリ」と「アッサム」を買い、青山一丁目に引き返して大江戸線に乗り換えて赤羽橋で下車。「麻布 die Pratz」に着いたのは丁度7時だったが、既に階段の下まで並んでいた。入場すると前列は埋まっているように見えたが、一つだけ空いている席があったのでそこに座った。客席は満員になって補助席も埋まる。大岩淑子の『夜明けのしっぽを聴く (Listening to My Tail at Dawn)』。床に白いプラスチックを敷いたアクティングエリアの奥に、横にひもが渡してあって、そこに色とりどりの衣装と所々に幅1メートルほどの白いボードがつり下がっていた。開演15分前から、白いワンピース

の一人の女性が出てきて歩いたり座ったり横になったりする。それが大岩淑子で、始まると彼女は、坊主頭になり、ボードの後ろで白いズボンに履き替えて、康本雅子とオリヴィエ・ベッソンと3人で踊った。次に3人が色の付いた衣装に替えてオレンジ色の光で激しく踊り、康本雅子のソロになり、オリヴィエ・ベッソンのソロになり、次が薄い白い下着のような衣装に着替えた大岩淑子のソロからオリヴィエ・ベッソンとの、格闘技のようなかなり激しいデュエットになり、最後は衣装を床に投げて散らかして、康本雅子とデュエットで、それをたたみながら踊って終わった。音楽は、ジャズとかポピュラーとか雅楽とか民謡とか様々なものが使われていた。3人だったり、2人だったり、ソロだったりという組み合わせの展開がスムーズに行っていたので、アフタートークで一応構成だけして、踊りはすべてインプロだと聞いて驚いた。パンフレットには、「dancer/聴き手」とあって、大岩淑子にとって踊ることは、身体の声をお聴くということだと言っていた。インプロの場合、二人の間での「コンタクト(触ること)」について、気のコンタクト、肉のコンタクト、骨のコンタクトがそれぞれあって、大事なのはダンサー同士の信頼だということで、フランス人のオリヴィエ・ベッソンは今回はそれがうまく行ったと話していた。終わって、大江戸線、半蔵門線、千代田線で帰宅。千代田線は一昨日と同じ唐木田行きだった。帰って、シャワーの後、林檎、カステラ、羊羹、煎餅、牛乳。夕刊。仕事場に下りて、mixiとメールを見る。Appleからのメールに、売り出されたIntel搭載の「Mac Pro」のことが書いてあって、Appleのサイトに行っているところと読んでしまう。どうせ買うなら「Mac Pro」を買いいたいという気になってくる。それから、「灰皿町blog日記」を書く

00:31:35 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-10

カレーを作って、小指値公演の感想を書く。

9日の朝は台風7号の影響で雨。トイレで読んだ『美を脳から考える』には、韻律のある詩は、リズムで空間的認知の右脳を働かせ、言葉の意味で時間的認知の左脳を働かせて、脳をステレオで働かせるので、人を感動させることになると書いてあった。ストレッチ体操。エプソンから修理に出したプリンターが戻ってくる。シャワー。雨に濡れた朝顔を撮る。鉢植えのバラに蕾が出てきた。葉が虫に喰われているので、殺虫剤を撒く。仕事場に行って、mixiを見てから、[朝顔の折れ曲がった花](#)をBlosxomblogに入れる。麻理と蕎麦で昼食。午睡。3時頃、パルケに行ってカレーの食材のジャガイモ、レンコン、にんじん、その他トウモロコシと枝豆と牛乳などを買ってきて、カレーを作り始める。米もといで炊飯器で炊く。トウモロコシと枝豆を茹でる。茹でるのを待つ間、薄日が差し、台風の名残の風で揺れる庭の植物を見て過ごす。カレーが出来て、ご飯が炊けて、仕事場に行き、ずっと書いてない「日録」の数日分を書く。今日、送られてきた足立智美さんの作品のDVDを見る。8時近く、トマトを切って、カレーで夕食。ベッドに横になって、NHKの洞窟の番組を見ながらうとうとする。9時廻って仕事場に下りて、「小指値公演『ツェラーシュバルツカッツ論文編』の感想」を纏める。居間に行って、林檎、トウモロコシ、枝豆、カステラ、煎餅、牛乳。仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:47:49 - shirouyasu - No comments

\*\*\*\*\*

### 小指値公演『ツェラーシュバルツカッツ論文編』の極私的感想

小指値の公演を見続けてきたわたしとしては、今回の公演『ツェラーシュバルツカッツ論文編』も、新しい試みが幾つかなされていて面白かった。

全体を通して語られる話の組み立ては、インコを飼っているコージとその友人ヤっさんと女友達との関係が、インコとスズメの関係に重ねて語られて展開するが、俳優が演じる役を固定せず、人物ばかりでなく、レンジやテレビや冷蔵庫まで演じ

てしまい、その人物達が作りつつあるバナナケーキまで演じてしまうところが、驚きであり新鮮だった。

小指値の上演では「My Name Is I Love You」以来、演技者と台詞や語りの言葉が分離しているが、その分離が『ツェラーシュバルツカツ論文編』ではっきりとした形になった。そこで、劇の上で、身体による物まね世界が完成されて、言葉で語られる日常生活が批判され、日常の空無が暴露されることになる。最後に、ヤっさんがインコの鳴き声を執拗に続けるのが、その空無を生きる人間の心の叫びに聞こえてしまう。時間を置いて考えると、あれはヤっさんがインコを真似ていたのか、竹田君がインコを演じていたのか曖昧だった。しかし、とにかく「ピー」というインコの鳴き声の繰り返しで儀式化した空間を生み出し観客の感情に働きかけていた。この儀式化が今回の公演では問題になるところだ。

開幕前の携帯についてのお願いを言いに出てきた皓司君が、いきなり火を噴いて見せて驚かせ、始まって明るくなるとその皓司君が天井から吊り下がった太いゴムで身体を浮かして、客席に向かって飛び出したり、壁を駆け昇ったりしながら、飼っているインコとその友達のスズメの話をする。次に竹田君が皓司君の家を訪ねる道順を語る。遅れている女友達の大道寺さんの職場のことが語られる。コミック編では猫や鳩や蠅に「セリフ」があったが、論文編ではセリフはほとんどなく、言葉はすべて「語り」の言葉だった。セリフがないことによって、人物が入れ替わったり、什器類を演じることが出来るようになった。コミック編では、言葉は身体にくっついていて、従って、アクションも人間または生き物の範囲内のものであった。つまり、コミック編の皓司君がずっと逆立ちしているとか、野上さんの小学生がランドセルを背負ったまま後ろに倒れるとか、また大道寺さんが石になってずっと裸で座っているとかというのは、人間の範囲内で身体の限界に向かうということだった。身体の限界を極めるというのは「体操」だ。それが、論文編では、皓司君が火を噴いたり、天井からゴムバンドでつり下がったり、大道寺さんの両手両足を持って抛り上げられたりするところに、その人間の限界を超えてしまうところが見える。とうことは、「サーカス」になってきたということなのだ。『ツェラーシュバルツカツ論文編』の公演で、小指値の演技のあり方が「体操」から「サーカス」になった。面白い変化だ。

小指値は、儀式的ということで見るとの感情を揺さぶろうとした。またサーカス的な演技で、驚異を実現して、人という存在のあり方超えようとした。より強烈に見るものに働きかける演技的な空間を実現しようとする、人間を超えた空間が生み出されてくるということが面白い。この先何処に向かっていくのか楽しみだ。

00:11:49 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-09

「ダンスがみたい！8」の鶴山欣也と山本萌を見る。

8日の朝は雨、雨に打たれる朝顔の花を撮る。トイレで読んだ『美を脳から考える』には、詩と脳の働きについて分析を進めると書いてあった。雨が小やみになったので、自転車で小林医院に行って診察して貰い、処方箋を貰う。慶応薬局で処方して貰う。その間、文教堂で雑誌など見る。葉を買って帰る。[雨粒を花卉に乗せた朝顔の花](#)をBlosxomblogに入れる。麻理と蕎麦で昼食。寝室に行き仮眠。うとうとしながら高校野球を見る。仕事場を下りて、『ツェラーシュバルツカツ論文編』についてメモする。5時半に家を出て、地下鉄で表参道、九段下で乗り換えて神楽坂で下車。駅を出た近くの中華の店で野菜炒めとライス。時間が早すぎたので、「フォンテーヌ」という狭い地下喫茶店でコーヒー。そこでもテレビの高校野球をやっていた。7時ちょっと過ぎに「神楽坂die ptatze」へ行く。7時30分から鶴山欣也とスペイン、イスラエル、コロンビアから来ている若い人たちによる

『W.a.u. W.u.g』～遠い点と点を紡ぐ～を見る。レインコートの男の鶴山欣也が闇に現れ、ゆっくりと移動して引っ込んだ後、黒衣装の女二人と男一人の三人の両手両足を主に使ったダンス。暗転してシャツ姿の鶴山の舞踏があって、また三人の舞

踏があって、鶴山が元の位置に戻ってフェイドアウトして終わる。10分休憩があって、続いて山本萌の『体通しの息吹き』。山本萌と尺八演奏家の関野秀夫が向き合って座って互いに呼吸のやりとりを始め、関野の呼吸で山本が憑きものが着いたような身振りで動き回る。尺八を吹くといっそう動きが激しくなる。大きな尺八で客席と後ろの壁の間を行き来する更に大きな動きになる。関野は尺八をバケツの水につけて吹いたり、横笛も吹く。その音に合わせて山本の舞踏が変わる。そして、また呼吸を合わせて、静まり終わる。ダンスが終わって、アフタートーク。鶴山氏が観客にビールをコップ一杯ずつ配って、ビールを飲みながらの話になった。若い人たちはそれぞれ日本に舞踏を学び来ていることを語り、山本氏はクロアチアで能と舞踏を混ぜてやった話をした。舞踏が世界中に広まっているという口調だった。10時過ぎて終わって、東西線、半蔵門線、千代田線と乗り換えて帰宅。帰宅して、林檎、カステラ、煎餅、牛乳。夕刊を見て、仕事場に下りて、mixiを見てから、「灰皿町blog日記」を書く。

01:21:52 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-08

2度目の『ツェラーシュバルツカッツ論文編』を見る。

7日の朝、朝食前に沢山咲いた朝顔を撮る。トイレで読んだ『美を脳から考える』には、脳の3秒のバッファが丁度詩のライン（詩句）の3秒と一致し、それが詩を読む感動を身体的なものにする、と書いてあった。[三つ並んで咲いた朝顔の花](#)をBlosxomblogに入れる。Webをちょっと見る。12時過ぎに昨夜買って置いたおにぎりで昼食。1時前に家を出て、千代田線で国会議事堂前から南北線溜池山王に乗り換えて王子下車。王子小劇場へ行く。2時から特別上映会。小沢和史ゆう夫妻が生後一ヶ月の元哉（もとき）ちゃんを抱いてきた。大丈夫かとちょっと心配。ゆうさんの『回』、大内伸吾君の『ウォルク』『聞いて』が上映された後、『ツェラーシュバルツカッツ』のコミック編のビデオが上映された。5時前に上映は終わって、わたしは外に出て王子駅の北の西側から東側に一回りして、「Restaurant 三富」で「日本産牛肉ヒレステーキ1450円」の看板につられて入って食べて、夕食にした。それから王子小劇場の近くの喫茶店「カトレア」でコーヒーを飲んで6時半まで時間をつぶして、7時から2度目の『ツェラーシュバルツカッツ論文編』を見た。約束していた麻理も来て隣に席を取った。客は補助席が用意されるほどの入りだった。多摩美の卒業生学生も多く、大久保賢一さん、木村和代さんも来ていた。初日の公演からするとメリハリがくっきりとして明解な印象だった。終わった後、上映された映像作品の作者と小指値の出演者を交えたトークがあった。コミック編と論文編の違いが、客席の発言も交えて話された。わたしは、コミック編は演技が体操的だったが、論文編はサーカス的だと発言した。体操的とは身体の限界に挑戦することで、サーカス的は人の力を超えるということ。今回は皓司君が火を噴いたり、天井からゴムバンドでつり下がったり、大道寺さんの両手両足を持って抛り上げたりするところに、また不在の存在を気にしたりするところなどにも、サーカス的と感じた。10時前に終わって、木村さんと麻理と一緒に南北線に乗って、話ながら帰る。木村さんは永田町で乗り換えで別れる。溜池山王で千代田線に乗り換えて帰宅。四国の白井宏さんから贈られてきた葡萄を食べ、麻理がわざわざ買いに来てきた林檎、カステラ、煎餅、牛乳。夕刊を見てから仕事場に行き、「灰皿町blog日記」を書く。

01:13:48 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-07

昼間は演劇『オーイ タスケテクレ』を見て、夜は「ダンスがみたい! 8」を見る。

6日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、3秒というのが脳が一時的

に保持するデータの長さというようなことが書いてあった。ストレッチ体操、シャワー。朝顔を撮って、庭に水。仕事場に行って、[裂けて咲いた朝顔の花](#)をBlosxomblogに入れる。水でお茶漬けご飯にして早い昼食。1時前に、麻理と一緒に家を出て、地下鉄で渋谷に出て、東横線の中目黒駅で「プレイバックシアター」に行く麻理と別れて、わたしは自由が丘で降りて、「大塚文庫」の地下ギャラリーへ行く。2時からそこで、多摩美生の辻村優子さんが出ている「オーイ タスケテクレ」の上演を見る。女といざこざがあって、その町の男達のランチにあって、隣の留置場に移された男と若い掃除女との愛の口舌が展開する劇、男は結局進入したいざこざのあった女の夫に殺されてしまう。狭いギャラリーの中で絶叫がやりとりされる。3時前に終わって、見に来ていた多摩美の学生達と近くのレストランでケーキセットを取っているいと話をする。4時過ぎ散会。わたしは東横線で渋谷に出て、東急プラザの紀伊国屋で本をちょっと見て、9階の「蓬萊亭」で夕食のヒレカツ定食を食べる。5時半に半蔵門線のホームに降りて、青山一丁目で大江戸線に乗り換えて赤羽橋へ。「麻布die pratz」へ行くと、開場が15分延びたというので、4番の券を貰って近くを散歩。小公園があったのそののベンチで休む。由来が書いてある掲示板を見ると、江戸時代の外国人の宿所だった『赤羽接遇所跡』と書いてあった。「麻布die pratz」に戻り入場すると「ダンス表現論」の非常勤講師の國吉和子さんと目が合って挨拶する。6時半過ぎから今津雅晴ダンス、今津武志映像の『In The Black Pool』を見る。右袖の床に置かれた開いた書物にポケットから砂を出して振りかけ、変な魚が泳ぐ5メートルぐらいの巨大スクリーンの前を泳ぐような踊りで通りすぎて、床に投射された水紋の上で力強く舞踏するところから始まる。スクリーンに等身大の自分の映像が三つ現れてシンクロするダンス、玩具の猿が叩くシンバルに合わせるコミックダンス、スクリーンの中で踊る自分のシルエットの足下から根が徐々に伸びて壁から天井までおおい、そこに自分の頭が沢山生ってぼとりぼとりと落ちる映像に対して、片足で立った自分の足をもう一方の自分の足で蹴ってどどと横に倒れる動作を繰り返して、最後にまた最初の書物のところに戻って終わった。今津雅晴のダンスは自意識をテーマにした硬質な舞踏という印象だった。終わって、階段を下りながら国吉さんと言葉を交わし、横断歩道のところで別れた。国吉さんは東京タワーの方に歩いていった。大江戸線で青山一丁目で半蔵門線に乗り換えて、表参道で千代田線に乗り換えて帰宅。帰宅したのが8時20分ぐらいで、「功名が辻」を途中から見て、それからシャワーを浴びる。「Nスペ」を見ながら麻理とスイカを食べる。「Nスペ」の後半を寢室のベッドで見ながら眠ってしまい、10時からBSで「功名が辻」の前半を見る。それから居間で林檎、カステラ、煎餅、牛乳。仕事場を下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

00:45:40 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-06

「ダンスがみたい! 8」の神雄二の『DANCE MISSION』他を見る。

5日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、3秒が音のまとまりとしての基本になるということが書いてあった。ストレッチ体操はせずに、庭に咲いたムクゲの花を撮って、水を撒いた。仕事場を下りて、カステラを贈って下さったOさんに礼状、その他の手紙などの返事を書く。それから、[ムクゲの花](#)をBlosxomblogに入れる。麻理はおばあちゃんのところへ行く。冷蔵庫に残っていたカレーにちょっと牛乳を入れて暖めて昼食。2時頃家を出て、地下鉄で表参道で半蔵門線に乗り換え、青山一丁目で大江戸線に乗り換えて、赤羽橋へ。15分ぐらい早すぎたので、次の大門まで行って戻って、「麻布ddie pratz」へ行く。丁度1時の開場の時間に着いたが、既に階段に並んでいた。神雄二の『DANCE MISSION』と『テーブルの下の蠅』の公演。開演の1時半には補助席が作られるほどの満員。百人以上は入っていたようだ。先ず、バルトークの『浄夜』で神雄二と川野真子の、パジャマの男とネグリジェの女のデュエット。精神的な男女の葛藤がバレエのスタイルで舞踏化されて展開し、夜が明けて朝食の日常的な食卓風景で終わるという30分。15分の休憩の後の『テーブルの下の蠅』は、蠅が幼虫から羽化するシーンから始まり、



この怪物の蠅とヨーロッパの農家の三姉妹の寓話のような話がコミカルな舞踏で展開する。怠け者の二人の姉にいじめられている妹は、姉たちが殺した蠅を丁寧に葬ってやる。蠅の怪物はこの優しい妹に荷担して姉たちを成敗して、妹を愛して娶るが、贅沢になった妹は蠅をうるさがる殺してしまうという話。パンフには「ハンガリアンティストの不思議は世界」と書いてあった。紙の衝立の配置でシーンを作って暗転が進められていく。終わって、数回の及ぶ出演者挨拶があった。赤羽橋駅のホームに行ったら、「お客様が線路に降りたので」というアナウンスがあって、20分待たされた。その間、ホームのベンチで今日のダンスについてメモしていて、バレエのようにストーリー展開する舞踏では、身体の動きが分節されているわけで、その分節についてははっきりと知りたいと思った。大江戸線から青山一丁目で半蔵門線乗り換えて、渋谷で下車。「Book1st」へ行って、DVD付きの『シンプルバレエLesson』と、写真の多い『実技日本舞踊の基礎』を買った。それから、東急本店の地下に行って、ウナギ弁当とオリーブの缶詰と蜂蜜とハムをを買って、タクシーで帰宅して、ウナギ弁当で夕食。トウモロコシを茹でながら、しばらくテレビで「巨人対横浜戦」を見ていて、眠くなり、寝室に行って30分ぐらい仮眠。居間で、林檎、トウモロコシ、カステラ、一口羊羹、割れ煎餅、牛乳。テレビで『スイングガールズ』の終わりをやっていた。仕事場に行って、『シンプルバレエLesson』のDVDを一通り見てから、「灰皿町blog日記」を書く。

01:11:29 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-05

シアターX (カイ) の第23回「名作劇場」で谷崎潤一郎と前田河廣一郎の一幕物を見る。

4日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、人が音を聞くというのは、「時間」を聞くことだと書いてあった。つまり、1000分の3秒以下振動は聞こえないし、100分の3秒以上の間隔がないと前後が分からずに同時に感じてしまう、という。つまり時間の差異を認知することが音を聞くことらしい。ストレッチ体操、シャワー。猫じゃらしを撮ってBlosxomblogに入れる。Webを見たりする。麻理が冷や麦を茹でて水に氷を入れて浮かせて、残りの煮物とで昼食。仮眠。3時前に庭の猫じゃらしをminiDVで撮影する。ちょっとした撮影なのに、汗びっしょりになってシャワーを浴びる。吉本隆明さんの『<信>の構造3』の天皇制ところをちょっと読む。5時に家を出る。その出がけにポケットの中のハンカチに、昨日無くしたと思っていた新宿駒込間の切符が絡まっていたのを発見した。無くしたのではなかった。小田急で新宿に出て、JR中央総武線で両国へ。シアターXへ行く途中の蕎麦屋の「凌雲」に、一年数ヶ月ぶりに入って、親子丼を食べようと思ったらメニューに無くて天丼を食べる。近くの「ドトール」でコーヒー。6時半廻ってシアターXへ。招待してくれたシアターXの支配人の上田さんに挨拶する。「日本近・現代秀作短編劇100本シリーズ」の第23回公演で、共に一幕物の前田河廣一郎(まえたこ・ひろいちろう)作『ダンブロ』(上演時間30分)と谷崎潤一郎作『ある男の半日』(上演時間60分)を見た。『ダンブロ』は1928年頃書かれた作者40歳頃の作品で、船の石炭係の男に金を払ってアメリカに密航する3人の男と1人の女が、石炭倉庫で食べ物を与えられないで飢えて互いに争い、やって来たその石炭係を殺してしまうというストーリー。パンフレットによると前田河廣一郎は徳富蘆花の門人で、アメリカで十数年浮浪体験をして帰国したプロレタリア作家で、年譜を見ると、この1928年から29年に中国に渡って、魯迅、郁建夫、田漢諸氏ら会っている。『ある男の半日』は、借金して贅沢な生活をしている軽佻浮薄な若い文士を主人公にして、原稿を取りに来た編集者がハワイへ行くと言えば自分も行くと言い、訊ねてきた学生が貧乏して創作に打ち込んでいる作家の話しをすれば、自分もそうすると言い出す、というような半日が舞台になっていた。9時前に終わって、JR総武線で新宿に戻り、小田急で代々木上原で下車して帰宅。野々歩がプロジェクターを借りに来たついでに、自分がいた部屋を片づけていた。林檎、津ヶ谷伸子さんが送ってくれた納涼和菓子、黒糖プレッツェル、煎餅、牛乳。夕刊を見な

から煎餅を食べているところに麻理が帰ってきて、一緒にスイカを食べる。その後、仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

01:24:49 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-04

劇団小指値公演『ツェラーシュバルツカツツ論文編』を見る。

3日の朝は、朝食を食べながら、先日の煮物で余った大根と煮干しとマイタケを煮る。トイレで読んだ『美を脳から考える』には、韻律詩には基本的に音韻のパターンとその変形あるということ、そしてリズムは右脳で受け止め、言語は左脳で受け止めて、要するに人間独特の言葉というものと動物に共通の空間的な知覚とを結び働きすることになるのではないかと書かれていた。ストレッチ体操、シャワー。津ヶ谷伸子さんから彼女が撮った写真と彼女のお母さんが作った野菜が送られてくる。高橋清さんと白尾美和さんから来た暑中見舞いへの返事を朝顔の花を入れてプリントする。麻理が蕎麦を茹でてつけ蕎麦と大根の煮物で昼食。庭の猫じゃらしが風に揺れるのを三脚をつけてminiDVで撮影。[昨日の夕方撮ったアゲハチョウ](#)をBlosxomblogに入れる。mixiやWebを見る。5時半に家を出て、新宿で買い物してから、JR山手線で駒込へ、改札を出ようとして切符をなくしたのに気が付く。切符をなくすなんて何年ぶりかのこと。南北線で王子へ。地下から出たところの「大戸屋」でハンバーグライスを食べる。[劇団小指値が『ツェラーシュバルツカツツ論文編』](#)を公演する「王子劇場」へ。差し入れのお菓子を買おうと思って、前を通り越すと、大平勝弘さんが追いかけてくる。近くのスーパーでお菓子を買って、「王子劇場」に戻り入場する。2番目の客だった。7時過ぎから開演。開演前の携帯などの注意をする山崎君がぶわおっと火を噴いて見せる。その山崎皓司君が天井から太いゴムでつり下がって空中を遊飛するところから始まる。話しは、竹田靖君がインコを放し飼いしたがつている皓司君を訪ねて、することがないからバナナケーキを作ることになり、バナナを買ってきて作る。それに飼っているインコと雀の友情のエピソードが絡んで展開する。インコや雀を演じたり、ケーキを作る過程を演じたりと、人間が人間でないものを演じることと、演じることで全員が汗びっしょりになるということによる日常性批判、つまり人間は何もない日常を生きているということの、空しい生き甲斐を感じさせるパフォーマンスと受け止めた。終わって、普段書かないアンケートを書いて、小指値の人たちに感想などを述べて劇場を後にした。7日にもう一度見ようと思う。帰りは、南北線で赤坂山王まで行って、そこで千代田線に乗り換えて代々木上原で降りて帰宅。スイカを切って食べ、屋間津ヶ谷伸子さんから送られてきた羊羹を切って食べ、枝豆、煎餅を食べ、牛乳を飲む。夕刊を読む。眠くなってソファでちょっと仮眠。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

00:19:02 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-03

「ダンスがみたい8」の矢作聡子+庄崎隆志+野崎夏世の『La trace』を見る。

2日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、詩のリズムの基礎となるライン（詩句）は2～4秒の長さで、音韻が同じ仕方で繰り返されると書いてあった。なるほどですね。そもそも「雲が行く、雲が行く、雲が行く」というように同じ言葉を三回唱えたと、詩か歌が生まれてくるというわけですね。ストレッチ体操、シャワー。[沢山咲いてきたサフィニアの花](#)を撮って仕事場へ。「ダンスがみたい8」の今までに見た分のデータをエクセルを使って表にまとめる。冷や麦を茹でて、水に浮かせて昼食。仮眠。仕事場に下りて、サフィニアをBlosomblogに入れていると、運送屋が修理に出すエプソンのプリンターを取りに来て、持って行く。トウモロコシを茹でて、コーヒーを淹れて飲みながら夕刊を見る。5時半になって、

家を出て渋谷の東口のバス停広場の向こう側の「蓬莱亭」本店に行ってヒレカツ定食を食べる。カツが油で揚げられて行くのを見ている。ヒレは10分掛かった。食べるのに10数分で、結局蓬莱亭では30分程掛かった。6時40分に蓬莱亭を出て、半蔵門線で青山一丁目で大江戸線に乗り換えて赤羽橋で降りて、矢作聡子+庄崎隆志+野崎夏世の『La trace』を見るために「麻布die pratz」へ。6時を廻っていて既に開場していた。前から2列目の入り口寄りの端の席に座った。6時半廻って開演。黒いノースリーブのワンピースの女と白いシャツ黒いスカートの女と上着を着た男の3人が、背景の四つのスクリーンの一つ一つにシルエットで激しく踊ってポーズを作って止まるというところから始まり、3人がライトの中で踊るまで続く。暗転して、中央に女が入った大きな鉢に赤いパラソル。シャツの女が「記憶」について語り、記憶の特性を一つ一つ挙げていくと、男と鉢の中の女がそれを示すかのような細かな仕草。それからシャンソンに合わせて女が踊る。それが繰り返されて、展開としては、最後に子供を孕んだ女から胎児に至って、最後は赤いテープを張りめぐらしての3人の激しいダンスで終わった。約1時間の公演だった。観念的な意味を持つ言葉と向き合っただけの身体というもの、ということなのだろうか。果敢な試みだと思うが、ダンスとして消化されてない感じだった。終わってそのままと来た道を引き返して、大江戸線、半蔵門線、千代田線で帰宅。車内では家に帰るのだろうと思える乗客達を見回していた。帰宅してシャワー。先ず林檎、麻理が渋谷の八百屋の大和田で買って来て茹でた枝豆、トウモロコシ、一口羊羹、牛乳。そこに、麻理に日本語の教え子だった韓国人から電話が掛かってきて、今、大阪にいるが、京都の何処のホテルも一杯なので、どこか泊まる場所を知っていたら紹介して欲しいという電話があった。知り合いの京都に住んでいる石黒清さんに相談の電話をする。それで、久しぶりに石黒清さんと話した。それから、仕事場に下りて、mixiを見て、「灰皿町blog日記」を書く

00:04:48 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-02

「ダンスがみたい8」の「マリ・ガブリエル・ロッセノイシデタクヤ」を見る。

8月1日の朝、朝食の前に、朝顔の花を撮った。それから、エプソンの修理センターに電話して「Door to door」で修理を頼む。運送屋が取りに来てくれるという修理の仕方。トイレで読んだ『美を脳から考える』は、「韻律詩」の分析に入った。韻律詩の社会的役割というようなことが書いてあった。どうやら、ここで言う韻律詩というのは儀式で歌われるものとか民謡のことを指しているらしい。ストレッチ体操、シャワー。庭の植物に水を撒いた。仕事場に行って、朝顔の花をBlosxomblogに入れる。蕎麦を茹でてざる蕎麦で昼食。仮眠。自転車で漢方薬局の有村堂に行って、軟骨補強剤と視力補強剤のサプリメントを買って、パルクでトマト、レタス、大根、蓮、生椎茸、キノコ、ホタテ、トウモロコシ、枝豆を買ってきて、大根、蓮、生椎茸、キノコ、ホタテを煮て、トウモロコシ、枝豆を茹でる。米をといでご飯も炊く。仕事場で、「神楽坂die pratz」の付近の地図をWebで細かく見る。有楽町線の江戸川橋の駅も近いように見える。6時前に、煮物で早めの夕食。食べながらテレビニュースを見ていたら、昨日女の子が排水口に吸い込まれたことをやっていたので、それを見ていたら、6時15分になってしまい、着替えて急いで出かける。地下鉄で表参道で乗り換える半蔵門線が、用賀で人身事故があって乱れているという。で、来た電車が、わたしが次に乗り換える九段下まで行かない半蔵門行きだった。それに乗って、有楽町線に乗り換えられる永田町で下りて、九段下に行く電車が来なかったら乗り換えようと、ホームを歩き出すと、押上行きが来たのでそれに乗って、九段下で走って階段を上り東西線に乗り換えで神楽坂で下りたら、もう7時15分だった。「ダンスがみたい8」の開演は7時半からだ。早足で歩いて、神楽坂die pratzについたら、20分を過ぎていた。それほどお客が来てなかったんで、2列目の一番端の席に座れた。先ず、マリ・ガブリエル・ロッセさんの『Mutability』の上演。暗闇の中から息する声が聞こえて、暗いスポットの中に胸

と背中に白い模様の付いた半透明タイツを履いた女が現れて、右手を頭の上から顔の左半分を押さえて水の音のようなノイズに合わせて踊る。スポットが三つになったところでは激しい動きになったりする30分程の舞踏だった。10分休みがあって、イシデタクヤさんの『私をついばむ被虐の鳥へ』の上演。最初は、白いシャツにダークグレイのズボンで、速いテンポの音で震えるような仕草でゆっくりと踊り、途中からピアノとチェロのメロディに変わって抒情的になる。膝を曲げて立っているの、頭が異常に大きく感じられる。暗転すると黒パンツ一つでスポットの中に座って、もがき、寝ころんだりする。それから暗転で、がらっと変わって、黒ズボンに黒い上着で、華やいだ仕草で登場して、男の太い声で歌われる英語の物語のような歌に合わせての踊り。それが、悲しみを表しているようなものになり、無音での踊り、そして更に感情の深みを表しているように感じられる踊り。終わったら、拍手とかけ声があって、アンコールとなって嬉しい踊りで終わった。上演後、志賀信夫さんの司会でトークがあった。ガブリエルさんは元々画家だったが描くときのアクションが大きくなって、舞踏と出会ってダンスもするようになったと言っていた。イシデさんは、16歳で土方さんの舞踏を見て感動して、土方さんのところとか、勅使川原さんのところとかいろいろと行って、パリでお金がなくて帰れなくなり、3年程、ヴェトナムの女性とストリートダンスをしたりしたということだった。そういえば、舞踏とマイムが混ざったところに「物語」が成立して味が出ている感じだった。10時頃全部終わって、帰りは江戸川橋の駅に出て、有楽町線から永田町で半蔵門線に乗り換えて、表参道で千代田線に乗り換え、代々木上原から歩いて帰宅。シャワー。林檎、トウモロコシ、枝豆、揚げまんじゅう、煎餅、牛乳。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

01:17:20 - shirouyasu - No comments

## 2006-08-01

カボチャとゴボウと豌豆を煮る。

31日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、「最後に十三番目として、人間の情報処理はカロジエネティックとして記述できる(ターナー)。これはギリシャ語のカロス(真・善・美)とジェネシス(産出、生成因、起源、源泉)の合成語である。人の神経系には世界について確かな、筋の通った、一貫した、まとまりのある、予測力の高いモデルを構成しようとする強い動因がそなわっている」と書いてあった。人間は真・善・美を生み出す力を持っているということと理解できる。ストレッチ体操、シャワー。庭に出て、山吹の花を撮る。流しで鍋を洗う手元を撮影する。auから携帯電話機のアップグレードするようというはがきが来たので、早速やろうと思ったが、マニュアルがどこかにしまい込んで見つからない。で、あちこち本をひっくり返して探す。何のことはない、後ろの本棚の本の間に押し込まれていた。マニュアル通りにアップグレードする。冷や麦を茹でて、水に浮かして昼食。寝室に行ってベッドに横になって、今日も高校野球の東京の東大会決勝戦「国士館対帝京」を見る。余り乗れないで眠ってしまう。4時頃、カボチャを煮始める。枝豆を茹でる。枝豆を食べて、コーヒーを淹れて、夕刊を見る。テレビで小学生の女の子がプールの吸水口に吸い込まれたという痛ましいニュース。仕事場に行って、[山吹の花](#)をBlosxomblogに入れる。メールに返事を書く。前に書いた短い詩に手を入れる。麻理が帰ってきて、買ってきた刺身とカボチャの煮付けで夕食。また寝室で仮眠。麻理が使っているプリンターが紙詰まりでないのに紙詰まりという警告を出すというのでいろいろやってみたが駄目なので、わたしのパソコンコーナーで使っているプリンターと交換する。それから、エプソンの修理センターやサービススポットの電話番号や場所をインターネットで調べる。居間に行って、林檎、ウエハース、黒糖プレッツェル、一口羊羹、煎餅、牛乳。テレビニュース。先ほどの女の子は、鉄の配管を壊して救出したが、死んだという。残念。仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:42:07 - shirouyasu - 2 comments